

スタートアップと連携し、局地的降雨量と水位の関係性の「見える化」に取り組みます！

局地的大雨などに伴い、中小河川・水路の急激な水位上昇による洪水や浸水害のリスクが増加しています。そこで、スタートアップ（RainTech 株式会社）と共同で局地的降雨量と中小河川・水路の水位をピンポイント&リアルタイムで観測し、雨量と中小河川・水路の水位の関係を数値で「見える化」し、中小河川・水路の氾濫対策につなげます。

目指す姿

<RainTech 株式会社>※

全ての人々が自然災害に巻き込まれないような適切な避難行動を取るために必要な情報を、一人ひとりが判断しやすい形でお届けすることを目指しています。現在、雨量をメインに防災に必要な情報を自動取得するIoTユニットにより、ピンポイント&リアルタイムで現地状況を遠隔監視するとともに、その収集データに基づく降雨量および水位予測モデルの開発を目指しています。

※設立 2022年4月

代表 代表取締役 藤井 聡史

所在地 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12

グローバルゲート 11 階 WeWork グローバルゲート名古屋

H P <https://raintech.studio.site/>

<豊橋市>

今回、RainTech 株式会社のシステムを用いて、降雨量と水位の「見える化」を図ることで、局地的大雨などに伴う中小河川・水路の急激な水位上昇による氾濫への対策につなげることを目指します。

現 状

局地的大雨などに伴い、日東電工株式会社豊橋事業所に隣接する水路において、急激な水位上昇による洪水や浸水害のリスクが増加しています。

取組内容

豊橋市とRainTech 株式会社で令和4年7月1日（金）に連携協定を結び、以下の内容に取り組みます。

- (1) 水位観測およびその流域の雨量観測に適した低コスト観測デバイスの開発・製造
- (2) 局地的降雨量および水位観測
- (3) 観測データに基づく降雨量および水位予測モデルの開発

スケジュール

- 令和4年7月 低コスト観測デバイスの開発・製造
局地的降雨量および水位の観測開始
※観測機器設置の際には取材していただくことができます。取材を希望される方は、ご連絡ください。
- 8月 観測データを用いた降雨量および水位予測モデルの研究開始
- 令和5年3月 研究成果とりまとめ

スタートアップとの連携の推進

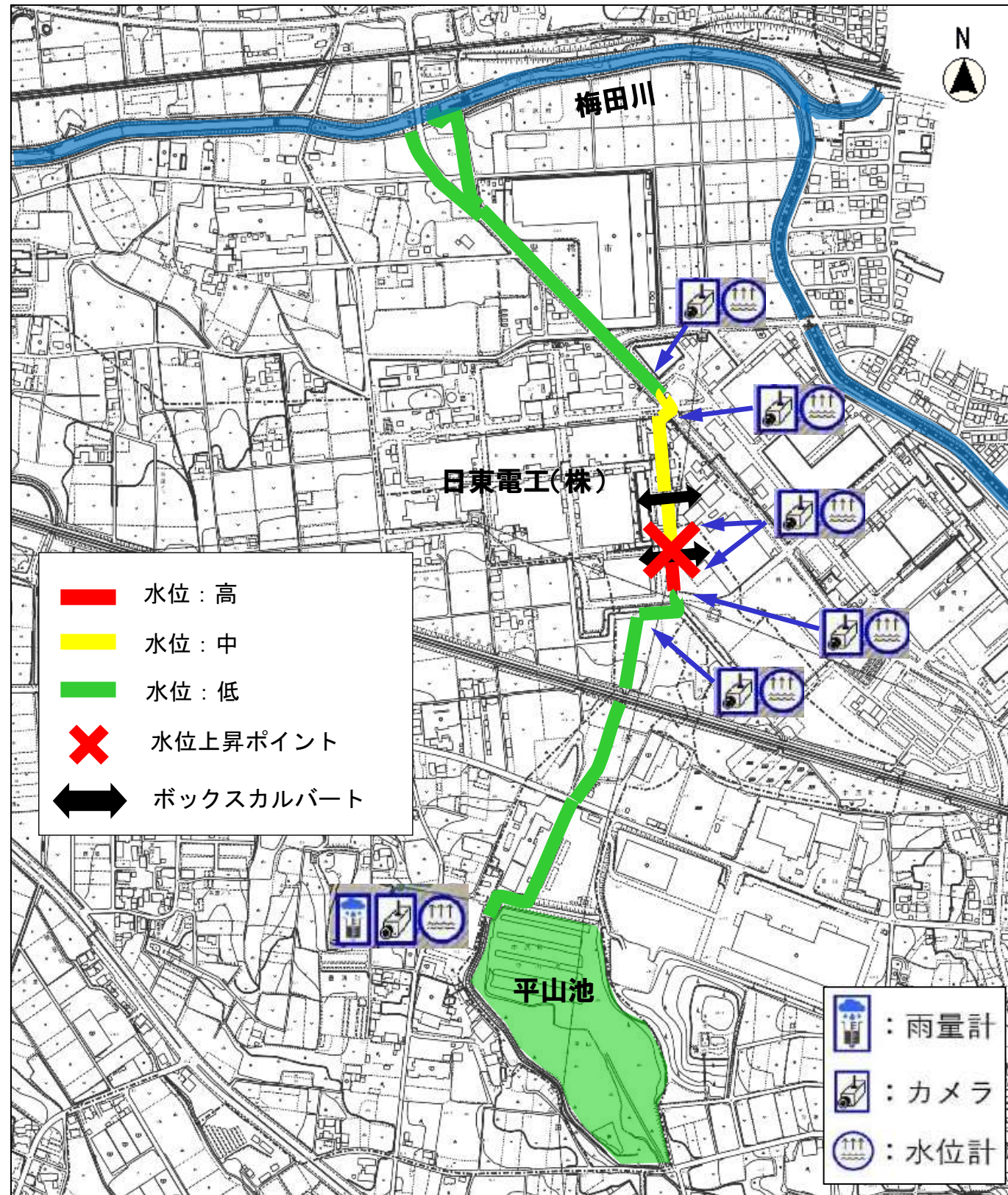
本市では、社会・事業課題の解決を目指し、最新のテクノロジーやノウハウをもつスタートアップと地域事業者等の共創促進に取り組んでいます。愛知県の施策とも連携し、本市における新たな製品・サービスに係る実証実験を地域をあげて支援することにより、本市独自の新たなイノベーションの創出を目指しています。



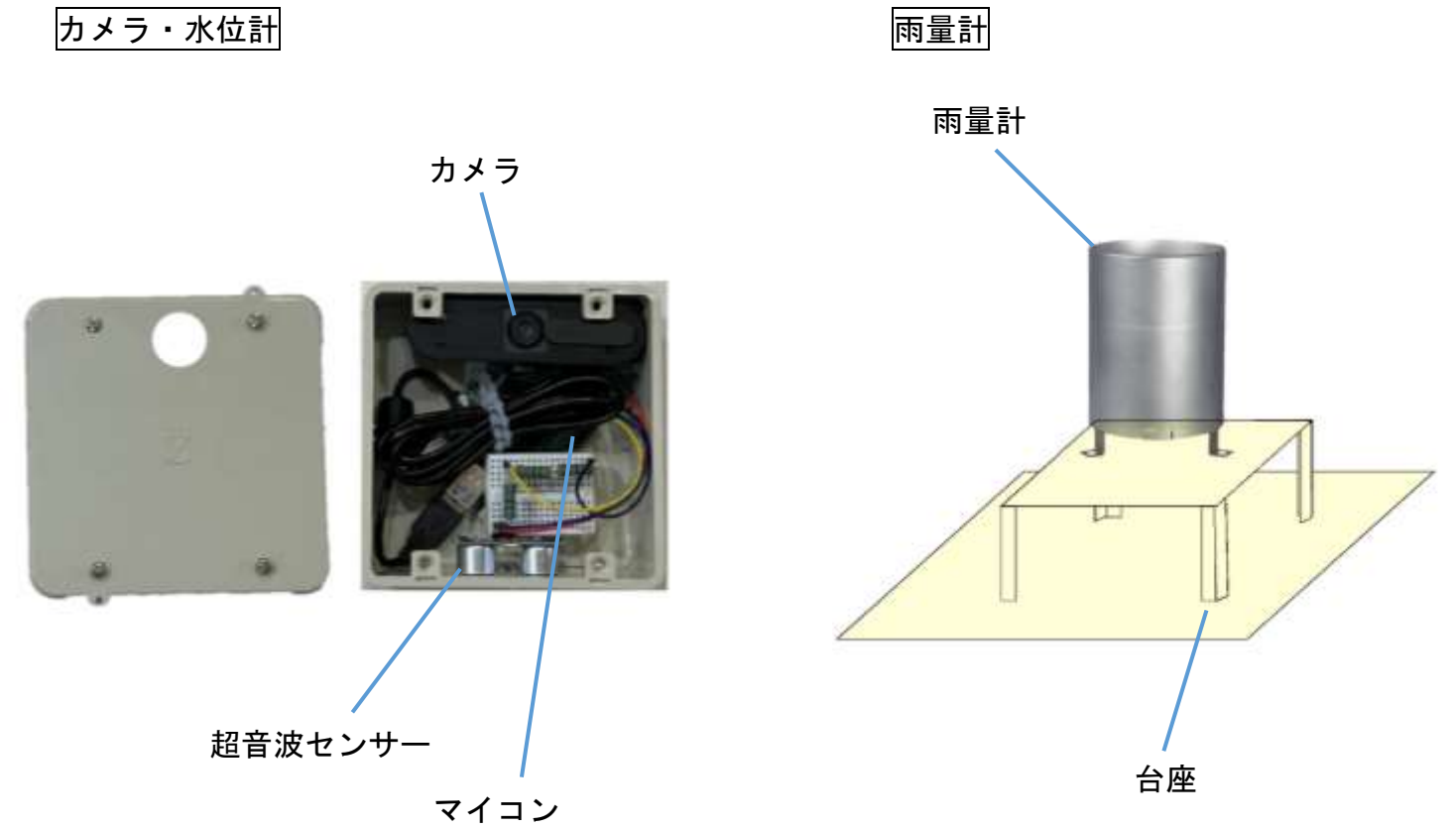
問合せ先

- ・共同研究の実施に関すること
建設部河川課 課長補佐 泉本 51-2545
- ・スタートアップとの連携に関すること
産業部地域イノベーション推進室
室長補佐 小野 51-3089

【観測場所（予定）豊橋市中原町】



【デバイスイメージ】



【RainTech 株式会社】

愛知県が運営するスタートアップ支援拠点プレステーション Ai (名古屋市中村区) に入居し、同施設の支援を受けながら新たなビジネス創出に取り組むスタートアップ。令和 4 年 1 月にプレステーション Ai を通じて本市の地域イノベーション推進室に相談があり、今回の共同研究を行う運びとなった。

【取組み】

RainTech 株式会社は、愛知県が実施する新あいち創造研究開発補助金に「低コスト雨量計開発および実測雨量結果と既存降雨量予測の差分を用いた降雨量予測精度向上の研究開発」と題した内容で交付決定（補助率 2/3、補助対象経費 750 万円、補助申請額 500 万円）